



# 勇壮豪快優美艶麗薩摩琵琶



日本の楽器といえすぐに思い浮かべるのがお琴、三味線、尺八、そして庶民の祭りの和太鼓。次にお雛様の五人囃子にもある鼓や横笛、平太鼓といったところでしょうか。琵琶となるとなかなか最初には思い浮かんできません。しかしこの琵琶、奈良時代に中国から伝来して以来、今日まで延々と雅楽で使われてきていますし、歴史の中で様々な形に変身して、雅楽以外の世界でも愛好されている、日本ではお琴とともに、三味線よりも歴史の古い楽器なのです。

薩摩琵琶は室町時代、薩摩（鹿児島県）の島津藩主島津忠良の命により、盲僧琵琶をもとに生まれた楽器。武士の教養と士気を高めるために演奏され、質実剛健、勇壮豪快を特徴としましたが、江戸時代後半には町人にも広まり優美艶麗な演奏も生まれました。明治二十年代には東京を中心に急速に人気が高まったそうです。現代では、正派、錦心流、錦琵琶の三大流派があり技を競い合っています。

1月29日（火）午後7時から行われた第143回レクチャーコンサートは、錦琵琶の流れを汲む鶴田流の琵琶奏者岩佐鶴丈（いわさかくじょう）さんをお招きして、

平家物語より「壇ノ浦」、小泉八雲の「耳なし芳一」の元となった話「琵琶ノ秘曲幽霊ヲ泣カシム」を鶴田氏が琵琶曲にした「耳きれ芳一」を楽しみました。琵琶は伝統的には4弦4柱ですが、鶴田流の琵琶は5弦5柱に改造され、より現代的な奏法で演奏できるようになっています。平家物語の悲哀、耳切れ芳一の怖さが切々と伝わってきました。

途中、楽琵琶に持ち替えて、奏法もガラリと変えて、優雅な平安帰貴族の世界へ。楽琵琶の秘曲とされる独奏曲「啄木」と「楊真操」が披露されました。現代の雅楽の合奏では、琵琶は分散和音を奏でるだけで主役になることはまずありませんが、この2曲は文字通り主役。楽琵琶の本当の魅力を感じることができました。

昨年6月には平家琵琶のレクチャーコンサートをしましたが、今年度は平家、薩摩、楽と3つの琵琶を紹介できました。これで琵琶のファンが増えたことでしょう。また機会があれば琵琶のコンサートをしたいと思います。

日 時：平成25年1月29日（火） 19:00～20:00  
会 場：楽器博物館天空ホール  
出 演：岩佐鶴丈  
入場者：60人

**イヴニングサロン 世界無形文化遺産  
バリ島の影絵人形芝居ワヤン・クリ  
アルジュナ王子の瞑想～マハバラタ物語より**



日 時：平成 25 年 2 月 3 日（日） 18:30～20:00  
会 場：楽器博物館天空ホール  
出 演：梅田英春（人形・語り）、サンディア・ムルティ（ガムラン）  
入場者：142 人

今年度締めコンサートは弦楽四重奏。2 月 22 日（金）に天空ホールで開催しました。出演者は愛知県立芸術大学の学生と先生方です。1 曲目は、学生 4 人がブラームスの「弦楽四重奏曲第 2 番」を演奏しました。弦楽四重奏とは主に、第 1 ヴァイオリン、第 2 ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロで構成される室内楽のことです。学生たちの魂がこもった演奏は、情熱的で力強く、お客様は真剣な表情で演奏を聴いていました。2 曲目は、教員である桐山さんと花崎さんが加わり、モーツァルトの「ヴァイオリンとヴィオラのためのシンフォニア・コンチェルタンテ」の弦楽六重奏版を演奏しました。重厚なブラームスからがらりと変わって、会場は華やかで明るい雰囲気になりました。アンコールが終わっても、客席からは惜しめない拍手が送られました。寒い冬の夜、弦楽器の美しい響きを聴いて、お客様は心も体も温まることができましたことでしょう。

ガムランはインドネシアで使われる青銅製の打楽器を中心とした楽器群のことですが、演奏される音楽も「ガムラン」と言います。今回はバリ島のガムランに合わせて演じられる伝統的な影絵芝居「ワヤン・クリ」を楽しみました。ワヤン・クリは 2003 年にユネスコの世界無形文化遺産に登録されています。人形を操るのはバリ島の芸術大学で人形使いとしての技術を学び、現在静岡文化芸術大学の准教授として教鞭をとる梅田英春さん。ガムラン演奏は名古屋を中心に活躍するサンディア・ムルティの皆さんです。この影絵芝居で使っている人形は牛の皮で作られていて、ワヤンは影、クリは皮を意味しています。この人形にはとてもきれいな色が塗られています。スクリーンを囲むように客席が作られ、影絵を正面からだけでなくスクリーンの裏からも色のついた人形や人形遣いの姿、ガムランの演奏風景を楽しんでいただきました。お芝居の中で何度か浜松や楽器博物館が登場し、客席は笑いに溢れていました。

**イヴニングサロン  
冬の夜のブラームス～弦楽四重奏曲第 2 番～**



日 時：平成 25 年 2 月 22 日（金） 19:00～20:00  
会 場：楽器博物館天空ホール  
出演者：愛知県立芸術大学学生 & 教員  
酒井愛里（ヴァイオリン 大学院博士課程前期 1 年）、足木かよ（ヴァイオリン 大学院博士課程前期 2 年）、田中千尋（ヴィオラ 大学院博士課程前期 1 年）、石本卓斗（チェロ 音楽学部 3 年）、桐山建志（ヴァイオリン 准教授）、花崎薫（チェロ 准教授） 入場者：44 人

**ミュージアムサロン「コーラス」**



日 時：平成 25 年 1 月 27 日（日） 14:00～、15:30～（各 30 分）  
会 場：楽器博物館天空ホール  
出 演：アンサンブル・ムジーク女声合唱団  
入場者：75 人

「アンサンブル・ムジーク浜松」は浜松市を中心に精力的に音楽活動を行いながら地域の音楽家を支援している団体です。今回はアンサンブル・ムジーク女声合唱団によるコーラス。コチャール、プーランクの作品をアカペラで披露すると、会場は美しいハーモニーに包まれました。その後、山崎恵子さんによるピアノ伴奏が加わり、シューマンの「ミルテの花」、ドビュッシーの「春のあいさつ」、ロシア民謡の「赤いサラファン」、浜松市出身の作曲家、佐藤賢太郎さんの「前へ」を演奏しました。指揮の河野真剛さんは「ラテン語、ドイツ語、フランス語、ロシア語などの歌詞を日本語に訳さずにそのまま原語で歌っています。練習はとても大変でしたが、それぞれの国の言葉の響きや美しさをお客様に楽しんでもらえたら…」とお話しされました。アンコールには昭和の名曲「見上げてごらん夜の星を」を歌い、美しい歌声が博物館中に響き渡りました。



## 平成 24 年度文化庁芸術祭賞贈呈式



楽器博物館コレクションシリーズCDの No.38 「イギリス・ソナタ～ブロードウッド・ピアノ 新世紀の響き～」が、平成 24 年度文化庁芸術祭レコード部門で大賞を受賞しました。賞の贈呈式が去る 1 月 30 日（水）午後 3 時より東京の如水会館にて行われ、嶋館長ならびに演奏者の小倉貴久子さん、調律の中山真さん、解説執筆者の筒井はる香さんが出席し、喜びを分かち合いました。受賞者はそうそうたる顔ぶれで、狂言の野村萬斎さんや映画俳優の宝田明さんもいらっしやいました。

賞状は近藤誠一文化庁長官より嶋館長に手渡され、贈呈式に続いて行われた祝賀会では、近藤長官より直々に祝福の言葉をいただいたそうです。

トロフィーは純金入りの釉薬で焼いた信楽焼。著名な彫刻家多田美波氏の作品です。漆塗りの台座に輝く姿は大変品格あるものです。賞状とトロフィーは 4 月から展示の予定です。



〈収録曲〉  
 J.L. デュセック (1760 ~ 1812)  
 ソナタ 変ロ長調 作品 23 (1793)  
 J. ハイドン (1732 ~ 1809)  
 イギリス・ソナタ ハ長調 Hob. XVI:50 (1794)  
 J. フィールド (1782 ~ 1837)  
 ソナタ 変ホ長調 作品 1-1 (1801) ほか

## 楽器博物館友の会第 11 回学芸員との夕べ 「魅惑の 19 世紀～エラールピアノとフランスのうた～」



2 月 16 日（土）、楽器博物館友の会コンサート「魅惑の 19 世紀～エラールピアノとフランスのうた～」が開催されました。出演はピアノの小倉貴久さんとソプラノの野々下由香里さんです。おふたりの共演は楽器博物館 CD シリーズ 29 「月の光」で聴くことができますが、今回は生演奏。会場へ詰めかけた多くの会員は、博物館所蔵の 1874 年製エラールピアノにのせてうたわれるドビュッシーやフォーレなどのフランスの歌曲に耳を傾け、あたかも 19 世紀パリのサロンにいるかのような心地で、ピアノと歌声のハーモニーを楽しみました。

日時：平成 25 年 2 月 16 日（土） 17:45 ~ 18:45

会場：楽器博物館展示室

出演：小倉貴久子（フォルテピアノ）、野々下由香里（ソプラノ）

入場者：106 人

## 博物館日誌

1/27(日) ミュージアムサロン「コーラス」 14:00、15:30 天空ホール

出演：アンサンブルムジーク女声合唱団 入場者：75 人

1/29(火) レクチャーコンサート「勇壮豪快優美艶麗～薩摩琵琶～」 19:00 天空ホール

出演：岩佐鶴丈 入場者：60 人

2/3(日) イブニングサロン「世界無形文化遺産 バリ島の影絵人形芝居ワヤン・クリ

『アルジュナ王子の瞑想～マハバラタ物語より～』 18:30 天空ホール

出演：梅田英春、サンディア・ムルティ 入場者：142 人

2/16(土) 楽器博物館友の会 第 11 回学芸員との夕べ 17:45 展示室

出演：小倉貴久子、野々下由香里 参加者：106 人

2/22(金) イブニングサロン「冬の夜のブラームス～弦楽四重奏曲第 2 番～」 19:00 天空ホール

出演：愛知県立芸術大学学生 & 教員（酒井愛里、足木かよ、田中千尋、石本卓斗、桐山建志、花崎薫）

入場者：44 人



- 展示室ガイドツアー 原則日曜日 11:00と14:00 30分の展示解説
- 鍵盤楽器デモンストレーション 毎日数回 展示品の19世紀ピアノ(フォルテピアノ)やチェンバロを10分程度デモンストレーション演奏
- ミュージアムサロン・ミニコンサート 不定期日曜日 天空ホールなどにてミニコンサート

## 展覧会

- 企画展「悠久のペルシア・錦と陶の美7000年～アナビアン・コレクションから～」  
 4/21(日)～6/30(日)  
 世界屈指のペルシア古美術プライベートコレクションから土器、陶器、ガラス器、漆、絨織、書など造品の数々を。
- 企画展「スイングする鉄筋彫刻パート2～徳持耕一郎作品による～」  
 8/7(水)～9/8(日)  
 昨年好評を得た徳持耕一郎鉄筋彫刻作品が再び浜松へ。会期中ミニコンサートも開催予定。
- 東京展覧会「ピアノの誕生と開花」  
 8/1(木)～8/29(木)  
 ヤマハ銀座店スタジオ 有料 詳細未定  
 主催：ヤマハ株式会社 浜松市楽器博物館



## レクチャーコンサート

- メロディック・バンジョー～名手ビル・キースを迎えて～  
 ビル・キース(バンジョー) 有田純弘(バンジョー、ギター) 渡辺三郎(解説)  
 4/19(金)19:00 天空ホール 3000円
- リュートの歴史～シェイクスピアからセルゲイ・イリヤエヴィチの創作音楽をたどる  
 佐野健二(リュート) 奥田直美(リコーダー) 平井美奈子(ソプラノ)  
 4/26(金)19:00 天空ホール 2500円
- プロイセン王国・フリードリヒ大王の生涯と音楽  
 有田正広(フルート) 有田千代子(チェンバロ)  
 レクチャー 4/27(土) コンサート 4/28(日)  
 どちらも14:00 音楽工房ホール  
 レクチャーのみ1000円 コンサート2500円(レクチャーも聴講できます)
- 悠久のペルシア、音の錦、雅なるサントゥール  
 プリー・アナビアン(サントゥール) 河村真衣(サントゥール)  
 谷正人(サントゥール) デリア・アナビアン(レクチャー)  
 レクチャー 「悠久のペルシア～書簡のイラン」  
 5/5(日)14:00 研修交流センター  
 コンサート 5/5(日)18:30 天空ホール  
 レクチャーのみ1000円 コンサート2500円(レクチャーも聴講できます)
- 月の光に誘われて～エラール・ピアノとフランスの歌 19世紀末パリのエスプリ  
 小倉真久子(ピアノ) 野々下香里(ソプラノ)  
 7/1(月)19:00 音楽工房ホール 2500円
- プラスバンド～英国、そして世界へ  
 浜松プラスバンド 多田宏江(指揮)  
 7/7(日)14:00 音楽工房ホール 2500円
- 世界遺産 ジャワの影絵人形芝居「ワヤン・クリ」  
 「ビモ・ボットゥー・ビモと人食い鬼～」  
 ローフィット・イブラヒム(ダラン) ビンタン・ララス(ガムラン)  
 7/21(日)14:00 音楽工房ホール 2500円

- 笛・ふえ・フェ～楽しいぞ！ リコーダーと仲間たち  
 吉澤実(リコーダーほか) 永田平八(リュート)  
 8/25(日)14:00 音楽工房ホール 2500円 親子ペア券3000円
- ルネサンス・ロック・モダン～リコーダーはいろんな顔を持っている！  
 ヴァルター・ファンハウヴェ 田中せい子 デニエ・プラジエッティ  
 9/20(金)19:00 天空ホール 2500円
- 世界遺産 バリの影絵人形芝居「ワヤン・クリ」  
 「クンパカルナの戦死～古典文学「ラマヤナ物語」より」  
 10/14(月)14:00 音楽工房ホール 2500円  
 梅田英春(ダラン) ギータクンチャナ(ガムラン)
- 共鳴する弦～19世紀ギターとスクエアピアノの対話  
 ダリオ・マカルーソ(ギター) 岩村かおる(スクエアピアノ)  
 10/28(土)18:30 天空ホール 2500円

- 平成24年度文化庁芸術祭レコード部門大賞受賞記念  
 イギリス・ソナタ～ブロードウッド・ピアノ 新世紀の響き  
 小倉真久子(フォルテピアノ)  
 11/12(火)19:00 音楽工房ホール 2500円
- 19世紀サクソフォンのエレガンス  
 赤松二郎 鎮道裕介 中谷龍也 飯守伸二  
 11/16(土)18:30 天空ホール 2500円
- フィンランドの古代楽器「ヨー・ヒッコ」  
 ヨウヒオルタステリ(フィンランドより来日)  
 11/25(月)19:00 天空ホール 3000円
- 故郷イタリアから「元祖」オカリナ七重奏  
 ブドリオ・オカリナ七重奏団「ゴブ」(イタリアから来日)  
 レクチャー 2/2(日)13:30 音楽工房ホール  
 コンサート 2/2(日)18:00 音楽工房ホール  
 レクチャーのみ1000円 コンサート3000円(レクチャーも聴講できます)



## イヴニングサロンコンサート

- 音の万華鏡、ジンバブエのムピラ  
 ガイカイ・ティリコティ(ジンバブエより来日)ほか  
 6/21(金)19:00 天空ホール 1500円
- 共鳴弦の陶酔、ヴィオラ・ダモーレ  
 Duo Sweet 17 田辺穂子(ヴィオラ・ダモーレ) コルネリウス・コント(ヴァイオリン)  
 7/24(水)19:00 天空ホール 1500円  
 後援：公益財団法人フランダースセンター
- 郷愁のウィーン、チャターにのせて  
 ヴィルフリート・シャルフ(リンツ音楽大学教授)  
 10/27(日)18:30 天空ホール 1500円
- 17～18世紀のギター音楽～バロックギターとイングリッシュギター～  
 竹内太郎(バロックギター、イングリッシュギター) 井上重(第2イングリッシュギター)  
 11/30(土)18:30 天空ホール 1500円
- 弦楽四重奏の愉しみ  
 アンサンブル∞～無限～  
 日時未定 天空ホール 1500円
- 2013国際音楽コンクール《山梨》入賞者コンサート  
 日時未定 天空ホール 1500円



## ミュージアムサロン

- 身体は跳ねる、心は躍る～ヨーロッパ民族舞踊の愉しみ  
 京都大学民族舞踊研究会  
 5/3(金)14:00 15:00 16:00(予定)  
 5/4(土)11:00 13:30 14:30(予定)  
 天空ホール 博物館入館料が必要です
- 電子チェンバロとクラシックオルガンの集い  
 8/24(土)13:00 天空ホール 博物館入館料が必要です  
 公演によるアマチュア演奏家数名の演奏  
 ゲスト：中野節一郎(電子チェンバロ)  
 公月愛子(電子チェンバロ)  
 上野美利(ヴァイオリン) ほか  
 共催：公益財団法人ローランド芸術文化振興財団



## ワークショップ

- モンゴルの喉歌ホーミー入門  
 4/21(日)14:00 研修交流センター  
 同時に二つの声を出す代表的な声楽ホーミーに挑戦してみよう。  
 講師：福井則之 1000円 要申込
- このほか、韓国のチャング、インドネシア・バリ島のガムランなどを計画中です。



## 講座

- 民族誌ドキュメンタリー映画とフルーサー(ひょうたん笛)のコンサート  
 「死者の旅のうた～中国少数民族タイ族の声と笛と暮らし」  
 講師：伊藤悟(国立民族学博物館外来研究員)  
 9/6(金)19:00 天空ホール 1000円 要申込
- 楽器の中の聖と俗「ハンガリアン・ダンス」  
 18:30～20:00 展示室 各回500円 要申込  
 商業化されていない素朴で美しい本物のハンガリー舞踊を最新の映像とお話で。  
 講師：西岡信雄  
 (大阪音楽大学名誉教授・浜松市楽器博物館名誉館長)  
 10/ 1(火)第57回「華園、乙女たちの舞い」  
 10/15(火)第58回「歌って踊って、三世代鼓演」  
 10/29(火)第59回「田園が似合う楽器たち」

